

まちの話題

8 / 5~8

智頭中学校生徒 × 韓国楊口郡中学校生徒 青少年国際交流

智頭町と友好提携を結ぶ韓国楊口郡は、「青少年国際交流事業」として長年にわたり学生同士も交流を重ねています。今年は8月5日から3泊4日の日程で、楊口郡の楊口中学校・石川(ソクチョン)中学校から12人の中学生を迎えました。智頭中学校の生徒14人が実行委員として中心となり、中学校で日本の文化や魅力に触れる交流会を行い、親交を深めました。



◀ 歓迎式典では、スライドを使って智頭町の紹介をしました。



8月5日の歓迎晩餐会では、はじめこそ緊張した面持ちの生徒たちでしたが、簡単なゲームで空気が和み、会が進むにつれ次第に笑顔が見られ始めました。会が終わる頃には、通訳の人を通さず楽しそうにコミュニケーションをとる姿もあり、帰り際には「トマンナヨ(またね!)」と韓国語講座で習ったフレーズで声を掛け合って別れました。

8月6日の智頭中学校での交流は、部活動参加生徒も一緒に玄関で訪問団を歓迎し、実行委員が企画・運営して歓迎式典・交流会を行いました。前半のスポーツ交流では、楊口中・石川中・智頭中生徒による4つの混合グループがボッチャで熱戦を繰り広げ、後半の日本文化体験では、茶道部による茶道体験・日本の遊び・浴衣の着付けを楽しみました。日本の遊び体験では、手づくりの福笑いをはじめたくさんの遊びが準備され、特に人気のあったけん玉は、生徒だけでなく大人の引率職員まで夢中でチャレンジしていました。



会話を重ねる中で共通の趣味を見つけたり、日韓それぞれの学校生活や文化について語り合ったりすることで、少しずつ相手への理解を深めることができた。自分から話しかけることで会話が広がり、より交流が深まることを学んだ。今回の経験を通じて、自分から主体的に行動する力が身についたと感じている。これからは学校生活でも、相手との共通点を見つけながら進んで人と関わっていきたい。

(実行委員2年生 古谷倫さん)



事業にあたり、智頭中の生徒たちは「夢の実現に向けコミュニケーション力を身につける」など、自分なりの成長目標をもって活動に取り組みました。そして、先生方やたくさんの地域の人々の協力で生徒の活動を支えていただき、本事業を終えることができました。

この経験が生かされ、さまざまな人々との関わりを大切にする豊かな社会を築く担い手となってくれることを期待しています。